

どう選ぶ？

電気工事向け見積ソフトの選び方

電気工事業向け見積ソフトの種類がたくさんありすぎて、「どれを選択すればいいか...」「自社に合っているソフトはどれか...」と迷うことはありませんか？

今回は、そんな方に向けて少しでもヒントになるような情報をご共有いたします◎

公共建築工事 内訳書作成システム

✓ 入札案件の見積作成向き

入札案件は設計書に基づいて見積を作成していきます。
各都道府県の過去の入札単価や単価データ等を
参照できる機能があることが多いです。



✓ 導入価格の相場は約200万円～

(※) 当社調べ

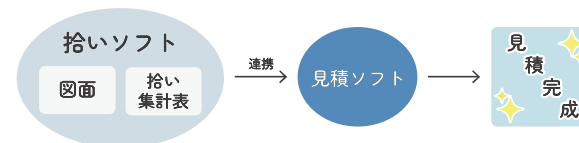


入札案件用のソフトはこれ！
民間工事用のソフトはこれ！って
使い分けている企業も多いみたい

積算見積システム

✓ 民間工事の見積作成向き

図面や材料拾い表をもとに、材料を積み上げて見積を作成します。
各材料に歩掛があり、原価計算も行える場合が多いです。



✓ 材料拾いソフトと連携

図面から材料の拾い出しを行う材料拾い専用ソフトとの
連携ができ、拾った材料の情報を見積に反映する
機能があることが多いです。

✓ 導入価格の相場は約50～100万円

(※) 当社調べ

貴社の業務に合った積算・見積ソフトを選択いただくことが
業務効率アップやミス防止に繋がります！